

注3

大学番号：私424

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

就実大学 大学院 医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 就実学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

企画広報課

職名・氏名 ジムイン 事務員 スワベヒロシ 諏訪部啓

電話番号 086-271-8467

(夜間) 086-271-8467

F A X 086-271-8310

e-mail kikaku@shujitsu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1.	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ ・	5
3.	施設・設備の整備状況、経費	・ ・ ・ ・ ・	8
4.	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ ・	10
5.	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ ・	12
6.	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・ ・	16
7.	その他全般的事項	・ ・ ・ ・ ・	17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 就実学園

(2) 大学名

就実大学

(3) 大学の位置

〒703-8516
岡山県岡山市中区西川原一丁目6番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	チバ キョウゾウ 千葉 喬三 (平成23年6月22日)		
学長	オシタニ ゼンイチロウ 押谷 善一郎 (平成17年2月15日)	イナバ ヒデオ 稲葉 英男 (平成25年4月1日)	前任者退職のため(25)
副学長	ゴミタ ユタカ 五味田 裕 (平成21年4月1日)	該当なし	前任者退職のため(25)
研究科長	テシマ ダイスケ 手嶋 大輔 (平成24年4月1日)		
専攻長	テシマ ダイスケ 手嶋 大輔 (平成24年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻 博士(医療薬学)	4年	4人	16人	基礎となる学部等 薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4 (-) [-]	-	4 (-) [-]	-	4 (-) [-]	-	4 (-) [-]	-	0.58倍	
志願者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (1) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]		
受験者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (1) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]		
合格者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (1) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (1) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.75		0.5		0.5					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 3	[-] -	[-] 1	[-] -	[-] 2	[-] -	
2年次	/		[-] 4	[-] -	[-] 1	[-] -	
3年次	/		/		[-] 4	[-] -	
計	[-] 3		[-] 5		[-] 7		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	3人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	2人	1人	平成25年度	1人	0人	仕事の都合	0.5%
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	2人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成25年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0!%
合計	7人	1人					0.1428571%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
最適薬物療法学分野専門科目	最適薬物療法学演習	1・後	2			6 5	1 3	2 1	0 1	兼1	担当者退職 五味田裕 (25) 担当者職位変更 塩田澄子准教授→教授 (25) 江川孝准教授→教授 (25) 毎熊隆誉助教→講師 (25)
	臨床医薬品評価学特論	1.2.3前		1		2					担当者退職 五味田裕 (25) 担当者新規採用末丸克也 (25)
	薬物療法解析学特論	未開講 1→2→3後		1		1 0	1 2	1 0	0 1		担当者職位変更 江川孝准教授→教授 (25) 毎熊隆誉助教→講師 (25) 履修希望者無しの為未開講 (25) (26)
	薬剤疫学特論	未開講 1→2→3前		1		1 0	0 1				履修希望者無しの為未開講 (25) (26)
	臨床感染制御学特論	未開講 1→2→3後		1		1					担当者職位変更 塩田澄子准教授→教授 (25) 履修希望者無しの為未開講 (24) (26)
	分子標的治療薬学特論	未開講 1→2→3後		1		1					履修希望者無しの為未開講 (24) (26)
	病態画像解析学特論	1.2.3前		1		1					履修希望者無しの為未開講 (25)
	薬物作用解析学特論	1・2・3後		1		1					履修希望者無しの為未開講 (25)
病態解析診断薬学分野専門科目	病態解析診断薬学演習	未開講 1後	2			4	3 2	1	0 1		担当者職位変更 守谷智恵講師→准教授 (25) 斉藤啓太助教→講師 (25) 履修希望者無しの為未開講 (24) (25) (26)
	疾病診断分析薬学特論	未開講 1→2→3前		1		1		1 0	0 1		担当者職位変更 斉藤啓太助教→講師 (25) 履修希望者無しの為未開講 (24) (26)
	病因究明創薬学特論	1・2・3後		1		1					履修希望者無しの為未開講 (24) (25)
	生体薬物情報解析学特論	未開講 1→2→3前		1			1				履修希望者無しの為未開講 (24) (25) (26)
	遺伝子診断薬学特論	未開講 1→2→3前		1		1					履修希望者無しの為未開講 (24) (25) (26)
	環境予防薬学特論	未開講 1→2→3前		1		1					履修希望者無しの為未開講 (24) (26)
	遺伝子創薬学特論	未開講 1→2→3前		1			1				履修希望者無しの為未開講 (24) (26)
	疾病機構解析学特論	未開講 1→2→3後		1			1 0	0 1			担当者職位変更 守谷智恵講師→准教授 (25) 履修希望者無しの為未開講 (24)
総合共通科目	医療薬学特別講義	1.2.3前	2	1		11 10	3 4	0 1			担当者退職 五味田裕 (25) 担当者職位変更 塩田澄子准教授→教授 (25) 守谷智恵講師→准教授 (25) 履修希望者無しの為未開講 (25)
	医療生命倫理学特論	未開講 1→2→3前		1						兼1	履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)
	臨床心理学特論	未開講 1→2→3後		1						兼1	履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)
	医療制度・医療経済学特論	未開講 1→2→3前		1						兼1	
	チーム医療薬学特論	未開講 1→2→3後		1		1				兼1	担当者新規採用末丸克也 (25) 履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)
	臨床薬物動態学特論	未開講 1→2→3後		1						兼1	履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)
	未病医薬学特論	未開講 1→2→3後		1						兼1	履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)
	創薬・育薬学特論	未開講 1→2→3後		1		2				兼1	担当者退職 五味田裕 (25) 担当者新規採用末丸克也 (25) 履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)
	医療情報学特論	未開講 1→2→3前		1						兼1	履修希望者無しの為未開講 (26) (25) (24)

研究指導科目	課題研究	1~4通	16			12 11 10	4 5	3 2	0 2	担当者退職 五味田裕 (25) 担当者新規採用末丸克也 (25) 担当者職位変更 塩田澄子准教授→教授 (25) 江川孝准教授→教授 (25) 守谷智恵講師→准教授 (25) 毎熊隆菅助教→講師 (25) 斉藤啓太助教→講師 (25)
--------	------	------	----	--	--	----------------	--------	--------	--------	--

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 22	科目 0	科目 26	科目 4	科目 22	科目 0	科目 26	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{26} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	就実短期大学と共用 大学全体 校舎敷地と別地 (バス利用10分) 運動場用地の一部を新設の附属幼稚園の用地としたため(24) 学生厚生施設の売却及び駐車場用地の取得のため変動(25) その他用地の見直しにより変動(26) 校舎敷地と別地 (バス利用10分)			
	校舎敷地	m ²	42,652.15m ²	m ²	42,652.15m ²				
	運動場用地	m ²	49,360.81m ² 51,367.15m ²	m ²	49,360.81m ² 51,367.15m ²				
	小 計	m ²	92,012.96m ² 94,019.30m ²	m ²	92,012.96m ² 94,019.30m ²				
	そ の 他	m ²	1,427.01m ² 4,539.54m ² 4,845.01m ²	m ²	1,427.01m ² 4,539.54m ² 4,845.01m ²				
	合 計	m ²	93,439.97m ² 96,552.50m ² 96,857.97m ² 98,864.31m ²	m ²	93,439.97m ² 96,552.50m ² 96,857.97m ² 98,864.31m ²				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	就実短期大学と共用 大学全体				
	11,767.90 m ² (11,767.90m ²)	27,561.08 m ² (27,561.08m ²)	2,747.43 m ² (2,747.43m ²)	42,076.41 m ² (42,076.41m ²)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	就実短期大学と共用 大学全体			
	32室	24室	102室	5室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	経営学科		16 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・設備については 学部と共用	
	医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻	8,143 [4,433] (8,042 [4,365])	38 [7] (38 [7])	84 [84] (84 [84])	89 (89)				
	計	8,143 [4,433] (8,042 [4,365])	38 [7] (38 [7])	84 [84] (84 [84])	89 (89)				
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		就実短期大学と共有			
	5,142.55 m ²	383 席		50万冊					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	2920.41m ²	テニスコート	1862.00 m ²	ゴルフ練習場	2,349 m ²				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	購入費が見積経費を下回ったため(24)
		教員1人当り研究費等	571千円	571千円	図書購入費	522千円 523千円	479千円	479千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	3,504千円 3,505千円	0千円	0千円	購入費が見積経費を下回ったため(24)	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		635千円	500千円	500千円	500千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入及び手数料収入をもって充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	就 実 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科(合計)		15	0	30		0.26		岡山県岡山市	
人文科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文科学)	0.3	平成21年度	中区西川原	
初等教育学専攻	2	5	0	10	修士 (教育学)	0.2	平成23年度	一丁目6番1号	
医療薬学研究科(合計)	4	4	0	16					
疾病治療薬学専攻	4	4	0	16	博士 (医療薬学)	0.58	平成24年度		
人文科学部(合計)		225		900		1.15			
表現文化学科	4	75	0	300	学士 (人文科学)	1.14	昭和54年度		
実践英語学科	4	75	0	300	学士 (人文科学)	1.11	昭和54年度		
総合歴史学科	4	75	0	300	学士 (人文科学)	1.19	昭和60年度		
初等教育学科	—	—	—	—	—	—	—		平成23年度より募集停止
教育学部(合計)		135	10	570		1.17			
初等教育学科	4	75	3年次 5人	310	学士 (教育学)	1.18	平成23年度		
教育心理学科	4	60	3年次 5人	260	学士 (教育学)	1.16	平成23年度		
薬学部									
薬学科	6	120	0	810	学士 (薬学)	0.85	平成18年度		平成23年度より入学定員を変更(150→120)
経営学部									
経営学科	4	80	0	320	学士 (経営学)	1.05	平成26年度		
大学の名称	就 実 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
幼児教育学科	2	100	0	200	短期大学士 (幼児教育)	1.08	昭和40年度	岡山県岡山市	
生活実践科学科	2	100	0	200	短期大学士 (生活実践科学)	1.025	昭和28年度	中区西川原 一丁目6番1号	平成23年度より入学定員を変更(120→100)
実践コミュニケーション学科	—	—	—	—	—	—	—		平成23年度より入学定員を変更(70→50) 平成25年度より学生募集を停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置

している場合には、専攻課程)単位で記入してください。

- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学、短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位）、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	手嶋 大輔 57	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学 演習 薬剤疫学特論 課題研究						平成25年3月五味田教授退職のため、末丸克矢薬学部教授を新規採用(25)25年6月教員審査済
専任	教授	五味田 裕 67	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学 演習 臨床医薬品評価学特論 創薬・育薬学特論 課題研究	専任	教授	末丸 克矢 52	平成25年10月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学 演習 臨床医薬品評価学特論 創薬・育薬学特論 課題研究	
専任	教授	片岡 洋行 57	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 疾病診断分析薬学特論 課題研究						
専任	教授	西村 多美子 57	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 臨床医薬品評価学特論 創薬・育薬学特論 課題研究						
専任	教授	鈴木 利典 56	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 病因究明創薬学特論 課題研究						
専任	教授	見尾 光庸 56	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 薬物作用解析学特論 課題研究						
専任	教授	中西 徹 54	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 遺伝子診断薬学特論 課題研究						
専任	教授	洲崎 悦子 53	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 病態画像解析学特論 課題研究						
専任	教授	渡辺 雅彦 51	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 環境予防薬学特論 課題研究						
専任	教授	森 秀治 50	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 分子標的治療薬学特論 課題研究						
専任	准教授	塩田 澄子 54	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 臨床感染制御学特論 課題研究	専任	教授	塩田 澄子 54	平成24年10月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 臨床感染制御学特論 課題研究	24年6月教員審査済
専任	准教授	増田 和文 51	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 生体薬物情報解析学特論 課題研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	小野 浩重 50	平成24年4月1日	最適薬物療法学演習 薬物療法解析学特論 課題研究						
専任	准教授	江川 孝 47	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 薬物療法解析学特論 課題研究	専任	教授	江川 孝 48	平成25年4月1日	医療薬学特別講義 最適薬物療法学演習 薬物療法解析学特論 課題研究	25年1月教員審査済
専任	准教授	工藤 季之 47	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 遺伝子創薬学特論 課題研究						
専任	講師	大塚智恵 (守谷智恵) 46	平成24年4月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 疾病機構解析学特論 課題研究	専任	准教授	大塚智恵 (守谷智恵) 46	平成24年10月1日	医療薬学特別講義 病態解析診断薬学演習 疾病機構解析学特論 課題研究	24年6月教員審査済
専任	講師	古林 呂之 40	平成24年4月1日	最適薬物療法学演習 課題研究						
専任	助教	毎熊 隆誉 33	平成24年4月1日	最適薬物療法学演習 薬物療法解析学特論 課題研究	専任	講師	毎熊 隆誉 34	平成25年4月1日	最適薬物療法学演習 薬物療法解析学特論 課題研究	24年6月教員審査済
専任	助教	齋藤 啓太 32	平成24年4月1日	病態解析診断薬学演習 疾病診断分析薬学特論 課題研究	専任	講師	齋藤 啓太 32	平成24年10月1日	病態解析診断薬学演習 疾病診断分析薬学特論 課題研究	24年6月教員審査済
兼任	教授	虫明 茂 58	平成24年4月1日	医療生命倫理学特論						
兼任	講師	齋藤 信也 53	平成24年4月1日	医療制度・医療経済学特論						
兼任	講師	荒木 博陽 60	平成24年4月1日	子一ム医療薬学特論						
兼任	講師	末丸 克矢 51	平成24年4月1日	子一ム医療薬学特論	専任	教授	末丸 克矢 52	平成25年4月1日	子一ム医療薬学特論	25年6月教員審査済
兼任	講師	千堂 年昭 56	平成24年4月1日	臨床薬物動態学特論						
兼任	講師	四方 賢一 53	平成24年4月1日	未病医薬学特論						
兼任	講師	下村 恭一 68	平成24年4月1日	創薬・育薬学特論						
兼任	講師	太田 吉夫 60	平成24年4月1日	医療情報学特論						
兼任	講師	岡本 基 63	平成24年4月1日	臨床心理学特論						
兼任	講師	中野 重行 71	平成24年4月1日	最適薬物療法学演習						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	定年規定の定め る定年年齢	定年を延長 している教員数
14	5	19	14	5	19	65	0
(14)	(5)	(19)	0	0	0	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	五味田裕	一身上の都合のため
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した専任教員の補充は本学薬学部教授末丸克矢とし、25年6月に変更書を提出し、教員審査承認済みである。よって、専任教員交代に係る大きな影響はないと考えている。また、学生に対しては、個々の状況に応じて研究計画作成時に相談をしており、問題ないと考えられる。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (23年10月)	理事長の選任方法に誤りがあることから、寄附行為の規定に基づき適切に行うこと。	理事長の選任については、今後寄附行為の規定に基づき、適切に手続きを行うよう徹底する。(24)(25)(26)	
	既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。 (就実短期大学 実践コミュニケーション学科)	実践コミュニケーション学科の定員を充足するため、学科の名称変更、カリキュラムの改革、高校訪問の活性化などを実施したが、入学者の回復が見込めず、平成25年度の学生募集を停止することを決定した。(24)	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年1月)	就実短期大学実践コミュニケーション学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	実践コミュニケーション学科の定員を充足するため、学科の名称変更、カリキュラムの改革、高校訪問の活性化などを実施したが、入学者の回復が見込めず、平成25年度から学生募集を停止した。(25)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
転入学にかかる制度が未設定であった。	他大学院からの転入学を認めるため学則の変更を行った。(25)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 就実大学大学院・就実大学・就実短期大学FD委員会規程(別紙1)を制定し、FDを中心とした教員の資質維持向上を図っている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 平成25年度のFD委員会実施状況は以下の通り。
 ①5月10日 21人 ②6月10日 22人 ③8月6日(メール会議) 構成員は26名

c 委員会の審議事項等
 教員の授業内容・方法の改善のための組織的な取り組みに関する事項
 教育システム全般に関わる研究、開発及び企画に関する事項
 その他教育の改善についての必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- FD講演会

b 実施方法
 今年度は大学院・大学・短期大学合同のFD講演会を行い、「中教審答申の『主体的に考える力』をどのように授業改善につなげるか」をテーマに話し合いを行った。

c 開催状況(教員の参加状況含む)
 FD講演会 実施日/参加者数 (平成25年9月20日 出席者93名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 本学では、大学院に所属する全ての専任教員が4年制大学教育を兼務しており、基本的な授業改善への取組は、FD講演会だけでなく、授業評価、相互授業参観等の実施により充実している。大学院に係る授業改善についても、平成22年度にFD委員会規程に基づく専門部会を設置し、大学院独自の授業改善の方策の検討も進んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
 本学では、前後期のセメスター制を採用しており、H25年度から専任教員担当の全科目について学生による授業評価を行っているが、大学院における授業評価は履修者数が少なくその方策等を検討中であり実施に至っていない。

b 教員や学生への公開状況, 方法等
 現在実施されていない。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成26年度の入学者は2名で、人数的には定員を下回るが社会人入学者であり、現場におけるスキルを高めたいという。アドミッション・ポリシーに応じた質の高い学生を確保することができており、高度な専門性をもち、医療現場の諸問題や社会のニーズに対応できる人材を地域に輩出するという設置の趣旨・目的に向け、持続的な人材輩出が可能であると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成21年5月1日

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

掲載URL <http://www.shujitsu.ac.jp/wp-content/uploads/2012/01/shudaijikoreport.pdf>

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2014年 5 月30日)